

— 情報図書館としての設備・サービスが向上 —

長谷川成一（附属図書館長）

現在の大学図書館は、高度な研究、教育を支えるために電子ジャーナル、データベース、電子ブックサービスなどインターネットを利用して、充実した学術情報を利用者に提供できる環境を備えた情報図書館としての機能が求められています。このたびの総合情報処理センターの計算機システムの更新では、附属図書館でも多用な新しい機能が加わりましたので、紙面を借りてご紹介します。

まず、ご紹介するのは、2階のPCコーナーを3階に移設し、新たにPCサテライトとしてリニューアルしたことです。

附属図書館は、学内の立地条件に恵まれているせいか、学内に設置されている総合情報処理センターのPCサテライトのうち、最も利用率の高いPCサテライトです。

これまで2階にあったPCコーナーの面積は56㎡で、PC30台の設置が限度であるためPCの増設はできませんでした。今回のリニューアルでは、3階の無線LAN・視聴覚室94㎡を改修し、ここにコーナーを移設しPC20台の増設を行いました。これにより狭隘化と混雑は緩和されるものと思います。加えて、一つの部屋として仕切り、空調設備を完備しましたので夏場の利用環境は改善されることと思います。電源やLANケーブルは、床下配線として利用者の移動の妨げにならないようにしました。通路側の壁は開放感のあるガラス壁としました。

また、リニューアルしたPCコーナーの隣の研修室では無線LANを利用できるようになりましたので、PCを持ち込む場合はここをご利用ください。

次に計算機システムの更新に合わせ、次のような図書館システムの更新も行いました。これにより新たなサービスが提供できるようになりました。

(1) 携帯電話からの蔵書検索ができるようになりました。

今まで蔵書検索はパソコンからでなければできませんでした。携帯電話からも利用可能になりました。また、自分で予約をすることが可能になりました。

(2) マイライブラリー（利用者個人のページ）が作れるようになりました。

これまで提供されていたILL（他大学からの文献複写や図書現物取り寄せ）依頼に加えて、いくつかの機能が追加され、より便利になりました。主なものをご紹介します。

①貸出履歴の参照

自分が借りた図書の書名、貸出日等を一覧できます。過去に借りた図書をもう一度読みたいが書名が思い出せない場合、現在自分が借りている図書がどれだけあるか分からなくなった場合など、自分で確認することができます。

②予約・取寄せ

貸出中の図書に、自分で予約をすることができます。今までは用紙に記入して窓口で依頼する方式でしたが、Web上で簡単にできるようになりました。

また、本館（又は分館）にある図書の取り寄せ依頼も、予約の場合と同様の手順でできるようになりました。

③図書到着、延滞等の状況確認

マイライブラリーにログインすると、画面上にお知らせ欄が表示されます。予約した図書が到着している場合、延滞した図書がある場合や貸出停止になっている場合等は、メッセージが表示されますので、自分の利用状況を知るのに役立ちます。

④検索条件の登録

特定のキーワードを登録し、検索結果を定期的にメールで受け取ることができます。継続して同じテーマの研究・学習をしている場合、この機能を使用すれば、前回の検索以降に入った図書のみを検索結果が得られるので、効率的に資料のチェックを行うことができます。

⑤ILL依頼

以前からある機能ですが、改めて紹介します。文献のコピーや図書現物の取り寄せをWeb上で依頼する機能です。窓口での申込みに比べ、自分の氏名・連絡先等を毎回記入する手間が省け、窓口が開いていない時間帯でも依頼できたり、何を依頼済みか自分で確認できたりする等の利点があります。

このたびのシステム更新によって、色々な機能が加わり情報サービス面が向上して、利用しやすい図書館となりました。附属図書館の職員は、システムの切り替えにスムーズに対応できるように各自5日間の講習会を受け、利用者サービスに当たっています。不明な点がありましたら、職員へお気軽にお尋ねください。

以上、ご紹介した新たな設備とサービスが教職員と学生の皆様に大いに活用され、学習や研究に役立つことを願っております。

